

指示書作成システム

Instruction sheet making system



医師が注意事項を伝えにくい



医師不足の深刻化

なかなか指示を覚えてもらえない
何度も説明するには時間が足りない

診療時間の不足

医師の説明を理解しきれない

注意事項が多すぎてよくわからない
薬の飲み方を忘れた

自己判断による治療放棄



Concept

注意事項を確実に伝える

診療時間の短縮・早期回復

医師に負担をかけない

電子カルテと連動
文章を選択して編集できる



医師側入力画面

患者のニーズに応える

患者によって求める医師の対応は異なる
相手に合わせた文章を提示することでより見やすくする

1. 親切・優しさ

未来 太郎 さん

病名：頭痛
お薬：アスピリン

本日はお疲れ様でした。
お薬は、アスピリンを出しておきますね。
お薬の飲み方は、1日3回、食前に飲んでください。
副作用として、かゆみや温疹がおきる。ご飯を食べる気がなくなる、胃が痛くなる、胃が膨れる、胸やけ、げりをする、頭が痛くなるというような症状が考えられますので、何か異変を感じた際は、お薬を控えて気軽に病院へ連絡してくださいね。

生活上の注意
食べ過ぎや飲みすぎに十分注意し、刺激物は控えて消化のよいものを食べるように心がけましょう。また、運動は控えたり、ストレスを溜め込まないように十分な睡眠をとしましょう。

お薬について
今日のお薬で気分が悪くなったり、かゆみや温疹がおきてしまったら、このお薬を飲むのをやめましょう。

次回受診日は2008年10月30日15:00です。

それでは、次回またお会いしましょう。お体には気を付けてください。

担当 財前 太郎
公立はこだて未来病院
TEL: 0138-00-0000

2. 情報量

未来 太郎 さん

病名：頭痛
お薬：アスピリン

本日はお疲れ様でした。
お薬は、アスピリンを出しておきますね。
服用方法は、1日3回、食前です。
副作用として、過敏症、食欲不振、胃痛、胃炎、胸やけ、下痢、頭痛が考えられます。

生活上の注意
暴飲暴食をつつし、刺激物は控え消化のよいものをとり、規則正しい生活リズムに心がけ、過労や睡眠不足を避けることが大切です。また、心理的ストレスをためこまないように、ストレス解消や相談相手をもつことも必要です。

薬の注意
本剤またはサリチル酸系製剤で過敏症をおこした人は服用しないでください。

担当 財前 太郎
公立はこだて未来病院
TEL: 0138-00-0000

3. 要点

未来 太郎 さん

病名：頭痛
お薬：アスピリン

服用方法：1日3回 食前

薬の副作用：過敏症、食欲不振、胃痛、胃炎、胸やけ、下痢、頭痛

生活上の注意
暴飲暴食をつつし、刺激物は控え消化のよいものをとり、規則正しい生活リズムに心がけ、過労や睡眠不足を避けることが大切です。また、心理的ストレスをためこまないように、ストレス解消や相談相手をもつことも必要です。

薬の注意
本剤またはサリチル酸系製剤で過敏症をおこした人は服用しないでください。

担当 財前 太郎
公立はこだて未来病院
TEL: 0138-00-0000